



活動報告 八代圏域 新規相談支援従事者フォローアップ研修を開催

暖かな春の訪れを感じる3月18日。八代市役所にて「八代圏域新規相談支援従事者フォローアップ研修」を開催いたしました。今回は、相談支援専門員として歩み始めた皆さんと共に、改めて「相談援助の根幹」を見つめ直す貴重な時間となりました。



「主訴とニーズ」～アンコンシャスバイアスに気づく～

当センターからは、「主訴とニーズ」というタイトルで講義を担当させていただきました。今回のキーワードとして挙げたのが「アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）」です。私たちは対人援助のキャリアを重ねる中で、過去の経験や社会の価値観から、知らず知らずのうちに「こうあるべき」「きつとこうだ」という思い込みや偏った見方を形成してしまいます。

バイアスは「なくすもの」ではなく「気づくもの」

バイアスを完全にゼロにすることは難しくても、それに自覚的であることが重要です。

事実と解釈を切り分ける 相談者の言葉（事実）と、自分の主観（解釈）を分けて整理する。

「なぜ？」を掘り下げる 自分がなぜそう感じたのか、一歩立ち止まって考える。

他者の視点を取り入れる 多角的な視点に触れることで、バイアスを少しずつ薄めていく。

これらを意識することで、相談者の真のニーズに深く寄り添えるようになって考えています。



ホッと一息、座談会タイム

講義の後は、参加者の皆さんによる座談会を実施しました。現場に出て走り出している皆さんにとって、日々の悩みや「これってどうなの？」という困りごとを吐き出す、リフレッシュの場になればという思いでの企画です。「自分だけが悩んでいるわけではないんだ」という安心感や、少しの息抜きが、明日からの支援の活気に繋がれば幸いです。年度末のお忙しい中、足を運んでくださった皆さま、本当にありがとうございました。現場で奮闘する皆さんの真っ直ぐな思いに触れ、私たちもたくさんのパワーをいただきました。皆さんが一人で抱え込まず、この圏域全体で支え合っていけるような繋がりを、これからも大切に育んでいきたいと思えます。

コラム 自分らしい「働く」へのステップ

100人いれば、100通りの「働く」がある

「将来、働けるかな？」と不安に思うことはありませんか。ゴールは「フルタイム」だけではありません。まずは安心して過ごせる「居場所」から。次に短時間で「お仕事体験」をして工賃を得る。さらにサポートを受けながら「契約して働く」。そうして自分に合う職場を見つける。一歩ずつ、今の自分にちょうどいいペースで社会とつながる道はたくさんあります。

「働く」を支える4つの福祉サービス

就労継続支援B型	自分のペースで、工賃をもらいながら活動する場所
就労継続支援A型	サポートを受けながら、お給料をもらって働く場所
就労選択支援	自分の強みや適性を知り、どのサービスが合うかを一緒に考える場所
就労移行支援	就職に必要なスキルを身につけ、自分に合う仕事を見つける場所
就労定着支援	就職したあとも、長く続けられるよう相談に乗ってくれる仕組み

焦らなくても大丈夫。まずは自分に合った場所を知ることから始めてみませんか。私たちは、あなたらしい一歩を応援します。

3月の活動内容 Main activity

- 2日 アクサポ（相談支援事業所訪問） 3日 成年後見制度利用促進協議会
- 9日 ゲートキーパー養成研修（ヤマハマリン）
- 9日 氷川町民生委員・児童委員協議会
- 10日 東康会 就労支援アドバイザー 10日 慶信会 衛生委員会
- 10日 八代市成年後見制度利用促進審議会 11日 八代支援学校卒業式
- 12日 氷川町審査会 13日 県相談支援事業連絡協議会臨時総会、研修会
- 13日 氷川相談所 16日 入院者訪問支援事業説明会
- 17日 八代支援学校 学校運営委員会 17日 県自立支援協議会精神部会
- 18日 八代圏域新規相談支援従事者フォローアップ研修
- 18日 高齢者支援課主催地域包括支援センター職員研修会
- 18日 第5期八代市障がい者計画策定・評価委員会
- 19日 八代圏域障がい者支援協議会 相談支援部会
- 19日 八代圏域障がい者支援協議会運営会議 23日 相談支援体制強化研修
- 23日 八代地域保健医療推進協議会 7.21日 あくろスペース

中高生の居場所づくり

あくろスペース

開所日はこちらから確認できます▶

